

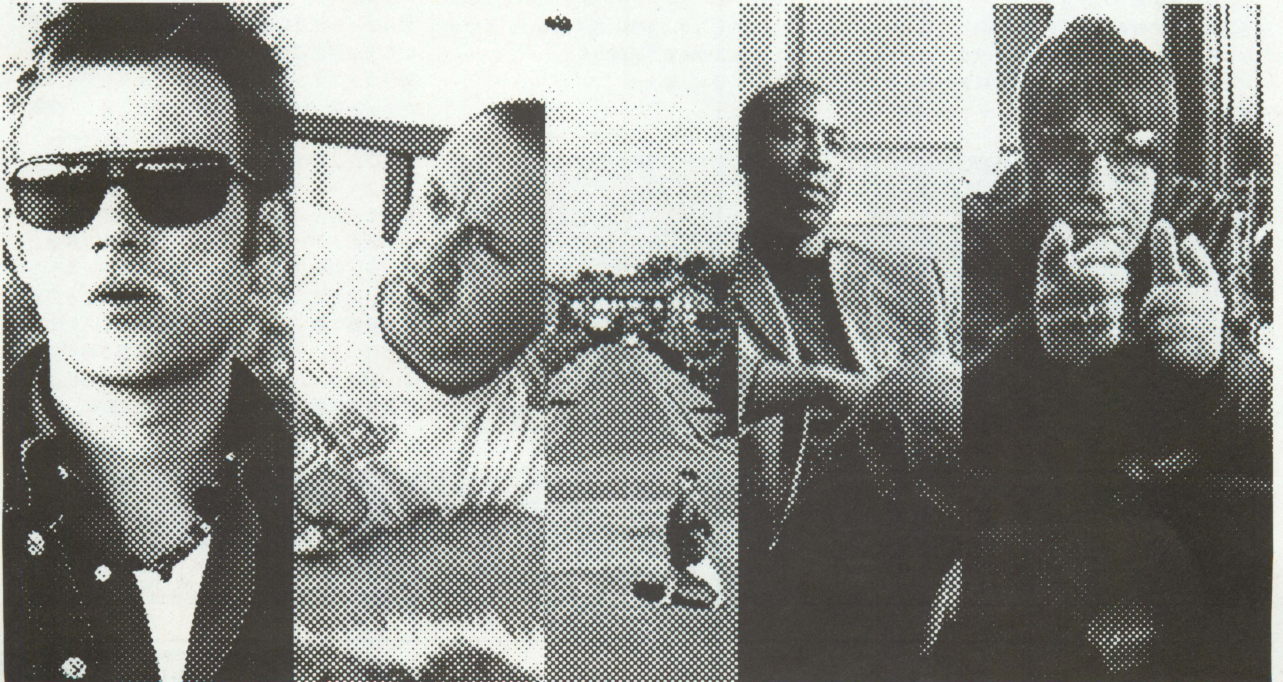


# LIVE FOREVER

## WHAT HAPPENED THEN?

**HIDDEN FACTS TOLD BY Noel Gallagher(oasis), Liam Gallagher(oasis), Damon Albarn(blur), Jarvis Cocker(PULP), 3D(MASSIVE ATTACK), Daimien Hirst, Ozwald Boateng and More.....**

Directed by: John Dower, Produced by: John Battsek [One Day In September] A PASSION PICTURES production LIVE FOREVER for the UK Film Council, BBC and HORSEBRIDGE PRODUCTIONS Soundtrack Released by Toshiba EMI (EMI Ver.) Sony Music (Sony Ver.) Supported by : Ben Sherman Co-operation from : British Council Distributed by : WISE POLICY INC. <http://www.wisepolicy.com> Co-Presented by : THE KLOCKWORX Co., Ltd. WISEPOLICY   MOVIEHOUSE ENTERTAINMENT



**90'S BRITPOP & CULTURE  
THE TRUE STORY OF COOL BRITANIA**

© Ben Sherman



## oasis vs blur

1990年代 イギリス クールブリタニアの時代  
センセーショナルな何かが始まろうとしていた…

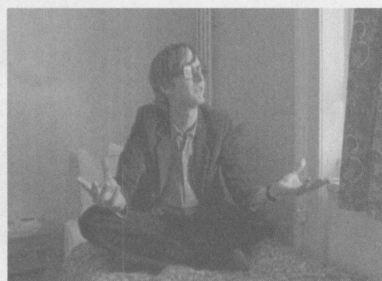
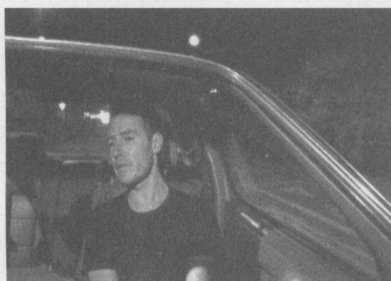
90年代に入りイギリスは社会全体が新しい局面を迎えることになる。その時代の予兆を見事に体現してみせたのがオアシス、ブラー、バルブらの出現で湧いたブリットポップと呼ばれるミュージックシーン。

またそれに続き1995年5月、イギリスではサッチャー政権のあと11年ぶりに労働党が政権を取り戻し、史上最年少の首相トニー・ブレアが政権を握った。「新しいイギリス」、「新しい世代」。ブレアが自らのスピーチでたびたび使用したフレーズ。これに呼応するかのようにブリティッシュ・カルチャーのルネッサンスが次々に始まる。映画ではダニー・ボイル監督の『トレインスポッティング』がハリウッドにはないクールな映像で世間をあっと思わせ、ファッションではオズワルド・ボートン、アレキサンダー・マックイーン、ジョン・ガリアーノといった伝統に捕われない新しい才能が出現、またアートではダミアン・ハーストに代表される大胆な発想とセンセーショナルなテーマが世界の脚光を浴びた。アメリカ的な消費文化に対抗し、イギリスのアウトサイダーたちが花開かせたブリット・カルチャーがこの時まさに世界の中心にあったといっても過言ではない。米国の代表的カルチャー誌「ヴァニティ・フェア」はブリティッシュカルチャー・ルネッサンスの大特集を組み、新しい才能たちによる新しいイギリスを“クールブリタニア”と呼び、この特集は世界的な大反響を呼んだ。『リヴ・フォーエヴァー』ではブリットポップの裏側に迫る一方、これら90年代を彩った伝説的なライブ、映画、アート、ファッションの貴重な映像とサウンドの発祥地であるコルチェスター、エセックス、シェフィールド、マンチェスターなどの風景を全編に散りばめて、短くも光輝いていた90年代イギリス、クールブリタニアの時代を再現。懐かしいサウンドとシャープな映像から生み出される高揚感に再び胸が熱くなる事必至である。

オアシスvsブラー この歴史的なロック界の確執について当事者たちの口から  
これほどストレートに語られた事がいまだかつてあったのだろうか？

90年代ブリット・ポップの中心的人物となり、時代を大きくリードしたのが、労働階級出身のノエル・ギャラガー&リアム・ギャラガー率いるオアシスと、中流階級出身のデーモン・アルバーン率いるブラーだった。オアシスは94年にアルバム「オアシス」を携えて、衝撃的なデビューを飾り一躍時代の寵児となる。一方ブラーも94年のアルバム「パーク・ライフ」が大評判となり、スターダムに登りつめる。双方の人气が頂点に達する頃、事件が起こる。95年8月のオアシスVSブラーの新曲同日発売である。それは当事者たちの思惑をこえ、様々な世論を巻き込み一種の社会現象とまでなった。これがきっかけとなった両者のバトルは60年代の“ビートルズVSローリング・ストーンズ”以来の歴史的な確執と言われる程だった。『リヴ・フォーエヴァー』

ではこの確執の当事者であるオアシスのノエル・ギャラガーとブラーのデーモン・アルバーンが当時を本音で振り返るという奇跡に近い超貴重なインタビューに成功！更にその騒ぎを傍観する傍ら独自のスタンスで実力を発揮していたバルブのジャーヴィス・コッカーやマッシュヴ・アタックの3D、スリーパーのルイス・ウエナーらのクールなコメント、音楽評論家のジョン・サヴェーゼの鋭い分析やダミアン・ハースト、オズワルド・ボートンから時代の寵児たちの証言などを交えて、90年代ブリティッシュ・カルチャーを牽引してきたブリットポップの知られざる裏側に鋭く迫る。いまだかつてない秘蔵映像満載の話題のドキュメンタリー。この夏ついに日本上陸！！



LIVE FOREVER  
LIVE FOREVER  
**SOUND TRACK** 6/23  
東芝EMI&ソニーミュージックより  
異例のダブルリリース決定!!

監督:ジョン・ダウアー 製作:ジョン・バットセク 撮影:フレデリック・ファブレ  
出演:ノエル・ギャラガー、リアム・ギャラガー、デーモン・アルバーン、ジャーヴィス・コッカー、ダミアン・ハースト、オズワルド・ボートン  
協賛:ベンチャーマン 後援:ブリティッシュ・カウンスル  
2002年イギリス映画/82分/35mm/カラー/スタンダード/ドルビーSR/日本語字幕:石田泰子  
配給:ワイズポリシー 共同提供:クロックワークス <http://www.wisepolicy.com> WISEP#LICY KLOCK WORKS MOVIEHOUSE

## 7/17(土)よりアフタヌーン&amp;レイトショー!!

●7/17(土)~7/30(金) = 10:15/12:10(~13:39)/21:00(~22:29)

<7/31(土)以降、上映時間変更の上 モーニング&レイトにて続映。詳細は、劇場までお問合わせ下さい。>

特別前売ご鑑賞券¥1,500絶賛発売中!! (当日:一般¥1,800の処)

<テアトル梅田のサービスデー> 火曜日:男性の方¥1,000/水曜日:女性の方¥1,000/12月を除く第1水曜日:¥1,000均一(12月は1日)

梅田コマ劇場斜め前 梅田口FトB1

テアトル梅田

06(6359)1080

<http://www.cinemabox.com/>

メール会員登録用 空メールアドレス  
umeda@moment-alpha.jp